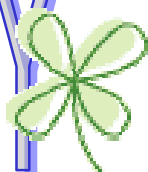


小田北生の健康と幸せを願う、ほけんだより

HAPPY CHILDREN



2014 年 9 月 25 日発行 こころの教育講演会号
尼崎市立小田北中学校 保健室
養護教諭 丑田 幸子

9月19日 こころの教育講演会を振り返って...

9月19日(金)5時間目、NPO ひょうご思春期ピアカウンセリング研究会に所属している看護大学生のピアカウンセラーのみなさんが、各クラスに入りお話をしてくださいました。

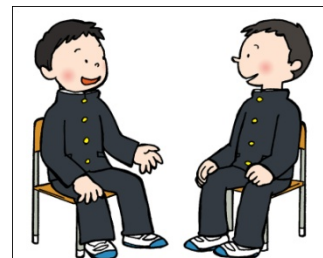
ピアカウンセリングとは、みなさんと同世代の仲間によって行われるカウンセリングのことです。ピアカウンセラーになるためには、なんと21歳以下(!)という年齢制限があるそうです。大人とは違い、みなさんと年齢が近いお姉さん、お兄さん達でしたので、聞いててしっくりきたり、話しやすかったのではないかと思います。

今回のテーマは「We are treasures」「私達は宝物」という意味です。ピアカウンセラー達が考えてくれました。私も宝物、相手も宝物。だから、自分や相手を大切にしよう!そのためには、自分や相手のことをよく知ろうよ!ということで、今回のような内容になりました。ミッションやゲームが含まれていて、「楽しかった」という感想も多くありました。楽しんでくれてよかった!でも、楽しいだけでなく、それぞれのミッションやゲームを通してみなさんに学んでもらい、感じてもらいたい、考えてもらいたいという目的もありました。

みなさんの感想文を通じて、今回学んだことの確認、共有をしていきたいと思えます。

ミッション「この人を捜せ」

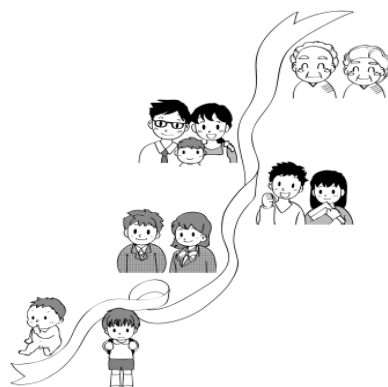
調査員になりきり、報告書の質問項目に従ってクラス一人ひとりに聞き取り調査をするミッション。クラスであまり話したことのない人と話す機会になったのでは??



・このゲーム「夏が好き」とか「朝ごはんはパン派」とかのゲームで色んな人に質問をしていった。質問をしていくうちに、「この人はそういうのが好きなんやなあ」と思ってきた。相手のことが分かっていったのがおもしろかったです(3組)

私のライフライン

自分の過去・現在・未来を思い浮かべ、幸せメーター・満足度を年齢ごとに書いていくワークでした。過去・未来を思い浮かべると、今、これからの自分のやるべき姿が見えてきたのでは？みなさんが一番真剣に取り組んでいたワークでした。



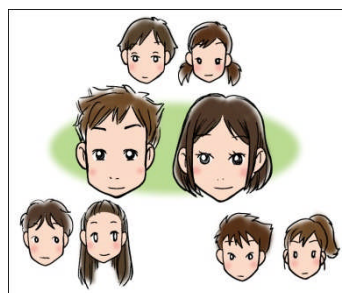
・小さい頃のことはあまり覚えていないけど、ピアっこの話を聞いて、小さい頃は親に支えてもらって幸せだったんだろうなと思いました。(3組)

・夢は3つあるので、自分が一番成功した時に叶えられる夢にしました。夢を叶えるためにどうしたらいいのかという話をしている時、僕は努力だと思った。(4組)

・私は詳しい将来のことを考えたことがなかったので良い機会でした。学校だけでなく家でもしっかり考えたいなと思いました。進路のことを今迷っているので、答えを出せるようにしたいです(2組)

水の交換

一人ひとりが水の交換をそれぞれ3回行くと…。クラスの中に1人感染者がいるだけで、こんなにも性感染症は広がっていく！「私も相手も性感染症なんて関係ない」と思っているも…。「え！私の水の色が変わった！」それが性感染症の怖さです。実感できたのでは？



・水を使ったエイズの実験は、たった一人からクラスの20人近くの人にかかって怖いなと思った(3組)

・水の実験をした時、一番にピアカウンセラーと水の交換をした。ピアカウンセラーが塩素を持っていて感染者だったので、私もみんなに塩素をまわしたんだと思った。知らない間にあんなに感染するんだと改めて思いました。

まとめ

・性に関することは、今聞いたらとても恥ずかしいことだなと思ったけど、将来大人になったときに必要なことなのかなと思うと聞いた。最初に「We are treasures」と聞いて、あまり意味がわからなかったけど、色んなことを通して最後にはこういうことだったんだ、と意味が理解できた。(1組)

・最初はどんな感じの話をするのかまったく分からなかったけど、大学生の人たちが楽しく話をしてくれたり、楽しいゲームを考えてくれて楽しかった。ゲームでは、ただゲームをするだけでなく、そのひとつひとつのゲームに意味があって理解しやすかったです。改めて、自分の人生をどういう風に生きていくのかも考えられたので、とてもいい話をしてもらえたと思います。(3組)

